

日本比較文化学会第45回全国大会・2023年度国際学術大会プログラム

比較研究1：苫小牧観光施設見学

- ・日時：2023年5月19日（金）
- ・行程：11：00 新千歳空港（希望者のみ）→12：00 苫小牧駅南口集合→「ぷらっと港市場」にて昼食と買い物（各自）→「ウポポイ（民族共生象徴空間・国立アイヌ民族博物館）」にてアイヌ文化体験（2000円）→18：00 頃苫小牧駅前到着

「夕食会①」苫小牧駅前（一般（3000円））

「夕食会②」苫小牧駅前（海外からの参加理事歓迎会（4000円）理事のみ）

比較研究2：シンポジウム、研究発表等

- ・日時：2023年5月20日（土）
- ・会場：北洋大学 本館（苫小牧市錦西町 3-2-1）

・スケジュール

9：00～9：50 理事会（理事のみ）（本館2F 教授会室）

9：30 一般受付開始

午前の部：10：00～12：00

10：00～10：50 総会（C102 教室）

（開会の辞）

11：00～12：00 シンポジウム（C103 教室）

テーマ「比較文化の原点」

LUNCH（北洋大学カフェテリア）

午後の部：13：00～18：00

13：00～13：50 記念特別講演：（C103 教室）

香山リカ（北洋大学客員教授）

「都市の医療とへき地医療——自らの経験を通して考察する」

14：00～17：40 研究発表（本館1・2F 各教室にて）

17：50 閉会の辞（C103 教室）

懇親会の部：18：00 より 北洋大学カフェテリアにて

シンポジウム「比較文化の原点」

11:00~12:00 C103 大教室

司会

北海道支部代表

植田尚樹(北洋大学准教授)

パネリスト

1. 関東支部/東北支部代表

木鎌耕一郎(神戸松蔭女子学院大学教授)

比較文化の原点を考える

—戦後のカトリック教会とユダヤ教の宗教間対話を例に—

2. 中国四国支部/九州支部代表

公文素子(高知大学非常勤講師)

「比較の原点」を考える

3. 台湾日語教育学会代表

邱若山(台湾静宜大学非常勤教授、台湾日語教育学会理事)

台・日比較文化の「原点」について—言語、文学などを通して考える

4. 台湾日本語文学学会代表

曾秋桂(淡江大学教授、台湾日本語文学学会理事)

比較文化の原点—不可欠な AI 技術の利活用

5. 関西支部/中部支部代表

二村洋輔(至学館大学助教)

「Lost and Found in Comparison: 比較することの限界と可能性」

研究発表

教室1 (C103 教室) (翻訳/日本語教育、文体)

1部 14:00~15:30

司会 佐藤和弘(弘前学院大学教授)

- ・王子涵(同志社大学文化情報学研究科博士後期課程) 山内信幸(同志社大学教授)
『狂人日記』の10編の日本語翻訳本の比較分析

- ・馮一峰(北洋大学専任講師)
構文的重複語の中国語訳について

- ・河内健志(前橋工科大学専任講師) 斎藤隆枝(帝京大学専任講師)
AI 翻訳・自動評価システムは何ができないのか

2部 15:40~17:40

司会 白鳥絢也(常葉大学准教授)

- ・佐古恵里香(流通科学大学特任講師) 山内信幸(同志社大学教授)
第2言語習得研究におけるオノマトペ習得に関する一考察
—日本語母語話者と日本語学習者のオノマトペ産出例の印象評価分析—

- ・山本茉莉(同志社大学博士前期課程) 山内信幸(同志社大学教授)
チャプター冒頭の「状況の it」が持つ談話機能

- ・柳燁佳(同志社大学大学院博士後期課程) 山内信幸(同志社大学教授)
個人文体と作品ジャンルの関係性研究
—著者識別タスクにおける正答率比較を通じて—

- ・山本真司(同志社大学大学院博士前期課程) 山内信幸(同志社大学教授)
プロレタリア文学作品とプロレタリア児童文学作品における文体の計量分析

教室2 (C102 教室) (日中语法・文学比較/日本語文法、文構造)

1部 14:00~15:30

司会 神崎明坤(西南女学院大学教授)

- ・王天保(台湾国立高雄科技大学副教授) オンライン
日中同形語に関する一考察—日本語の「個性」と中国語の“個性”の比較を通じて—

- ・蘇欣(東北大学国際文化研究科博士後期課程)
沈章文(東北大学国際文化研究科博士後期)

日中同形動詞「拡大」「扩大」の意味用法に関する一考察

- ・代春艶(天津财经大学修士課程大学院生) オンライン
中日詩歌の受容から見た共通的な審美観 —『楓橋夜泊』『飲酒』等を例に

2部 15:40~17:40

司会 山内信幸(同志社大学教授)

- ・陳志文(国立高雄大学 東アジア言語学科教授)
漢字形容動詞の連体形「○○な」「○○的な」についての考察

- ・大谷鉄平(北陸大学講師)
BCCWJにおける「ブレイク」のふるまいと意味機能
—雑誌記事見出しとの比較を中心に—

- ・松江夏津紀(京都先端科学大学准教授)
自己像を演出する人称代名詞 —アニメにおける日タイ人稱表現の比較—

- ・ズルフィカル・ラーマン(中国・四国支部/広島大学人間社会科学研究科博士課程後期)
インドネシア語と日本語における依頼表現の対照研究

教室3 (C203 教室) (宗教・哲学/朝鮮・韓国ドラマ・映画)

1部 14:00~15:30

司会 山田利一(北洋大学特任教授)

- ・森下一成(東京未来大学教授)
沖縄における梵字碑の語意と真言宗との関わりについて

- ・桐生信(錦西ふる里の家教会 司式牧師)
伝統的キリスト教の可能性

- ・マヴィークムブラ・カルロヴァー・ペトラ(チェコ・パラツキー大学助教) オンライン
Buddhism in karate life and practice of Srilankan Buddhist karate practitioners
(発表言語: 英語 質疑応答: 日本語も可能)

2部 15:40~17:40

司会 福本達也(北洋大学教授)

- ・石俊彦(東北大学大学院・院生)
2016年以降の中国における韓流ドラマの受容

- ・李惠慶(大阪経済法科大学 研究員)
北朝鮮・ジェンダー・映画 —ラブコメディ『金ドムムは空を飛ぶ』を手掛かりに—
- ・呉恩英(済州大学校人文科学研究所 学術研究教授)
在日朝鮮人の文化活動 —金坡禹の演劇運動を中心に—
- ・李鳳(北海商科大学准教授)
「(さ)せていただく」と「하다(hata)」の日韓対照

教室4 (C107 教室) (西洋文学/日本文学)

1部 14:00~15:30

司会 高坂京子(立命館大学教授)

- ・仲矢信介(東京国際大学 国際関係学部准教授)
モーム『剃刀の刃』と二つの映画化作品
- ・那須野絢子(常葉大学 外国語学部英米語助教)
「雪女」にみるアンデルセンの影響
- ・原田寛子(福岡工業大学教授)
現代小説における女性の老い：英語圏文学と日本文学を比較して

2部 15:40~17:40

司会 江口真規(筑波大学)

- ・黄如萍(台湾・国立高雄餐旅大学応用日語学科准教授)
横溝正史「面影双紙」論(その2)
- ・曾秋桂(淡江大学教授)
「八月の庵—僕の「方丈記」体験」と『風の歌を聴け』から見た文学の原点
—AI 技術と協働し村上春樹文学研究の体系化を目指して—
- ・葉菱(淡江大学准教授)
村上春樹『一人称単数』に描かれた過去と未来
- ・風早悟史(山口東京理科大学講師)
『「雨の木(レイン・ツリー)」を聴く女たち』の女性像
—マルカム・ラウリーの作品との比較を通して—

教室 5 (C105 教室) (英語、英語教育)

1 部 14 : 00~15 : 30

司会 高瀬文広(日本赤十字社九州国際看護大学教授)

- ・ 山崎祐一(長崎県立大学教授)

異文化コミュニケーション能力の向上を目指した英語教育の実践
～知識・技能を活用して「話す力」につなぐ～

- ・ 飯田泰弘(岐阜大学准教授)

英語力測定テストとして活用する映画 : mMET 『レベッカ』バージョンを例に

- ・ 橋尾晋平(名古屋外国語大学)

日本人英語学習者の文産出における日本語の主題をもつ文の影響に関する一考察
—初級学習者・中級学習者の和文英訳のデータの比較を通して—

2 部 15 : 40~17 : 10

司会 北林利治(京都橘大学教授)

- ・ 福嶋剛司(北洋大学講師)

項と付加詞における照応形の局所性について

- ・ 高坂京子(立命館大学教授)

オランダにおける複言語・複文化主義と言語教育—英語教育の現状と課題を中心に—

- ・ 大井一真(京都外国語大学大学院)

代名詞回避原理における対格と属格の的確性について

教室 6 (C204 教室) (社会言語、社会文化、国際交流、多文化)

1 部 14 : 00~15 : 30

司会 西川祥一(北洋大学教授)

- ・ 関口英里(同志社女子大学学芸学部メディア創造学科教授) オンライン

メディアを活用した課題解決型プロジェクトによる地域活性化の可能性
——文化力とプロデュース力の向上を目指した取り組み

- ・ 郭潔蓉(東京未来大学教授)

ダイバーシティ経営の推進と課題—外国人雇用の実態調査からみる一考察—

- ・ 田中真奈美(東京未来大学モチベーション行動科学部教授)

岐阜県可児市国際交流協会フレビアの取り組みの変化

2部 15:40~17:40

司会 滝波慶信(北洋大学教授)

- ・宮辻渉(広島経済大学准教授)
不妊治療と仕事の両立支援を促す組織文化に関する研究
- ・陳孟宏(国立宇都宮大学博士一年(博士課程))
日本と台湾における音楽と社会運動の関係性
—音楽フェスにおけるNGO ヴィレッジから—
- ・伊藤豊(山形大学教授)
レイチェル・マッキノンとトランス問題
- ・臺丸谷美幸(水産大学校准教授)
JACL 機関紙『Pacific Citizen』にみる日系アメリカ人朝鮮戦争兵士像
——1950年代日系二世の市民権問題と社会参入

教室7 (C206 教室) (文化比較/近現代史・文学)

1部 14:00~15:30

司会 八尋春海(西南女学院教授)

- ・栢山剛(鳥羽商船高等専門学校准教授)
太平洋戦争勃発前における堀悌吉の軍縮政策とのかかわり
—大角人事での失脚過程と盟友山本五十六との最後の別れまで—
- ・耿義(宇都宮大学地域創生研究科博士後期)
莫言の「魔術的リアリズム」が映し出すもう一つの中国近現代史
—『赤い高粱一族』『白檀の刑』を手掛かりに—
- ・二村洋輔(至学館大学・助教)
戦時下帝国日本と英領マラヤにおける戦争文学の<原住民>表象をめぐる比較文学的
研究:理論的枠組みの整理と批判的検討

2部 15:40~17:10

司会 郭潔蓉(東京未来大学教授)

- ・陳由璋(北海道大学アイヌ・先住民研究センター博士研究員)
先住民族の文化財とは—日台の文化財制度を通して考察—
- ・劉嫦雲(広島大学大学院人間社会科学研究科博士後期課程/ (中国) 韓山師範学院講師)
社会的展開における潮州工夫茶と日本煎茶道の比較 オンライン

- ・ 頼錦雀 (台湾・東呉大学日本語文学系特聘教授)
台湾と日本の人名文化 —改名騒動から考える—

教室 8 (C205 教室) (音声・音韻関係/教育、学校)

1 部 14 : 00~15 : 30

司会 植田尚樹 (北洋大学准教授)

- ・ 侯宜卓 (東北大学国際文化研究科言語科学研究講座 博士後期課程 2 年)
食感表現に関する日中オノマトペの音象徴性

- ・ 杉本雅彦 (東京未来大学教授) 金塚基 (東京未来大学准教授)
岩崎智史 (東京未来大学講師)
高等学校における女子生徒応援部員の発声技法に関する考察

- ・ 高橋栄作 (高崎経済大学教授)
津軽弁の音象徴

2 部 15 : 40~17 : 40

司会 金塚基 (東京未来大学准教授)

- ・ 斎藤隆枝 (帝京大学講師) 河内健志 (前橋工科大学講師) 高橋栄作 (高崎経済大学教授)
GIGA スクール構想下における公立中学校生徒の ICT 機器使用状況と意識に関する調査

- ・ 藤山和久 (広島経済大学准教授)
クラスにおける制御と裁量の関係性—高専と大学の比較—

- ・ 田島喜代美 (常葉大学非常勤講師) オンライン
大学生におけるエンゲージメントとソーシャルアントレプレナーシップの関係性について—学生 NPO 法人の活動の検証から検証する

- ・ 津村公博 (浜松学院大学教授) オンライン
海外につながる児童生徒を対象として、送り出し地域と受け入れ地域の教育機関が連携したオンライ海外協働学習の効果について